SPECTRONICS CORPORATION

作成日：2018年10月31日

更新日：2019年8月28日

製品安全データシート

1.製品及び会社情報

製品名: SPE-GS101E-P6J、SPE-GS1E-P6J、SPE-GS2E-P6J、SPE-GS3E-P6J

その他品名：なし

種類: エステル系合成基油を使用する空調／冷凍システム用蛍光剤

用途: リーク検知システム

製造者：Spectronics Corporation, 956 Brush Hollow Road, Westbury, NY 11590, 1-800-274-8888.

輸入総発売元　　株式会社リークラボジャパン　　担当：物部　智人

大阪市港区市岡元町3－3－21　TEL.06-6582-5497　　FAX.06-6582-5495

2.危険有害性の要約

特有の危険有害性：

この商品は、記載の法令に該当しますので、該当する法令の内容を確認し取扱ってください。

危険物第四類第三石油類 (消防法 危険物)

GHS 分類

物理理化学的危険性：

火薬類	分類対象外
可燃性・引火性ガス	分類対象外
可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
支燃性・酸化性ガス	分類対象外
高圧ガス	分類対象外
引火性液体	区分外
自己反応性化学品	分類対象外
自然発火性液体	分類できない
自然発火性個体	分類対象外
自然発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	分類できない
酸化性液体	分類できない
酸化性個体	分類対象外
有機過酸化物	分類できない
金属腐食性物質	分類できない

人健康有害性：

急性毒性（経口）	分類できない
急性毒性（経皮）	分類できない

急性毒性（吸入：気体）	分類対象外
急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない
急性毒性（吸入：粉塵）	分類対象外
急性毒性（吸入：ミスト）	分類できない
皮膚腐食性・刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷・眼刺劇性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）	分類できない
特定標的臓器・全身毒性（反複ばく露）	分類できない
呼吸性呼吸器有害性	分類できない

環境有害性：

水生環境急性有害性	分類できない
水生環境急性有害性	分類できない

絵表示又はシンボル：



注意喚起後： 危険

危険有害性情報：

吸入すると有害（ミスト）

軽度の皮膚刺激

眼刺激

遺伝性疾患のおそれの疑い

肺の障害のおそれ

長期又は反複ばく露による肺、皮膚の障害

飲み込み、気道に侵入すると生命に危険のおそれ

注意書き：

【安全対策】

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

使用前に取り扱い説明書を入手すること。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。

屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。

ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

取り扱い後は手をよく洗うこと。

【応急措置】

飲み込んだ場合、無理して吐かせないこと。

吸入した場合、空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを用意に外せる場合には外して洗うこと。

ばく露又はその懸念がある場合、医師の診断、手当を受けること。

飲み込んだ場合：直ちに医師の診断、手当てを受けること。口をすすぐこと。

眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。

皮膚刺激があれば、医師の診断、手当てを受けること。

【保管】

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3.組成、成分情報

成分/化学名	CAS Number	Wt.%（質量濃度）
AR-GLO5新蛍光剤	下記参照(※)	25-35%
POE冷凍機油	下記参照(※)	65-75%

※ POE冷凍機油と蛍光染料は、企業秘密のため非開示です。

労働安全衛生法： 非該当

化学物質管理促進法(PRTR法)： 平成21年10月1日改正法施行後の対象物質に対し非該当

化学物質審査規制法(化審法)： 平成22年4月1日改正法施行後の対象物質に対し非該当

毒物劇物取締法： 非該当

4.応急措置

目に入った場合: 綺麗な水で目を洗浄。コンタクトレンズをつける場合は、コンタクトレンズを外して洗浄。もし炎症がひどくなるようであれば医師の診断を受ける。

皮膚へ付着した場合: 付着部分を石鹸と綺麗な水で洗浄。汚染された衣服と靴を脱ぐ。再使用の前、衣服をよく洗う。もし炎症がひどくなるようであれば医師の診断を受ける。

吸入した場合: 新鮮な空気を摂取できる場所へ移動させる。毛布等で保温し安静に保ちすぐに医師の診断を受ける。呼吸しない場合には人口呼吸する事。

飲み込んだ場合: すぐに医師を呼ぶこと。無理に吐かせずに医師の指示に従い嘔吐・吐出させる事。

一般的なアドバイス:アクシデント又は気分が悪い場合は、すぐに医師の指示に従う。（可能な場合は商品のラベル若しくはSDSを医師に見せる。）

医師に対する特別注意事項：現在のところ有用な情報なし。

5.火災時の措置

引火点：＞204℃

爆発限界：爆発下限界LEL%:現在のところ有用な情報なし, 爆発上限界UEL: 現在のところ有用な情報なし

引火性：WHMIS（作業場危険有害性物質情報システム）基準を満たすことにより、引火性なしということ。

消火剤: 粉末消火剤、泡消火剤、炭酸ガス類使用のこと。

使用してはならない消火剤：棒状放水、水噴霧。

燃焼生成物：含むかもしれない、限りではない：炭素酸化物

爆発資料：機械的な衝突への感知：分類できない。

静電放電への感知：分類できない。

消火を行なう者の保護: 消火作業の際には防護・防火服、空気呼吸器、循環式酸素呼吸器などを着用のこと。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護服及び緊急時措置：作業の際には必ず防護服を使用の事。直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。関係者以外の立入りを禁止する。

環境に対する注意事項：ドレン、下水溝、排水溝そして水道に放出してはらない。環境汚染を防ぐため、水の使用を最小にすること。

回収・中和：不活性材料（例えば、乾燥砂又は土等）で流出物を吸収して、化学品廃棄容器に入れる。下水溝又は水道への流入を防ぐ。作業の際には必ず専用な個人用防護具（PPE）を使用のこと。

廃棄: 原料を掬い取って、廃棄物処理法に従い産業廃棄物として処理すること。

その情報：当該なし

7.取扱い及び保管上の注意

取扱い：

- 常温、換気の良い場所で取り扱う。
- 目に入ると軽度の炎症を引き起こす可能性があります。保護メガネを使用するなどして目に入らないようにする。
- 皮膚に長時間触れると炎症を引き起こす可能性があります。保護手袋等を使用するなど皮膚に触れないようにする。
- 炎、火災または高温体との接近を避けるとともにみだりに蒸気を発生させないようにする。
- 取扱いの後十分に洗浄すること。

保管：

子供の手の届くところに保管することは避ける。常に容器のフタをきつく閉めること。涼しく、乾燥した換気の十分できる場所に保管し、熱・点火源及び直射日光を避けること。

8.暴露防止及び保護措置

設備対策：必要に応じて通常排気装置を設ける。

管理濃度：測定データ無し

技術者の制御：適切な換気を行なうことによって露出限界（ゴミ、煙霧、蒸気などの空気汚染基準を参照）

以下になるよう空気濃度を維持する事。

目の保護：保護ゴーグルを着用すること。

皮膚の保護：適切な保護服やグローブを着用すること。

呼吸器官の保護：蒸気/ミストの吸引を避けること。必要に応じてマスクを着用する。

一般の衛生面への配慮：労働衛生的で安全に従って取り扱う。

その他：必要に応じて導電性安全靴を着用する。

9.物理的及び化学的特性

物理状態：液体

色　：琥珀色

臭気：軽い石油臭気

臭気限界：測定データ無し

pH：測定データ無し

動粘度@40℃：＞20.5cSt

動粘度@100℃：測定データ無し

融点・凝固点：測定データ無し

沸点：＞204℃

引火点：＞93℃

揮発性、wt.%: 0

発火点：測定データ無し

蒸発速度（酢酸ブチル＝1）**：**測定データ無し

引火下限界：測定データ無し

引火上限界：測定データ無し

蒸気圧@20：測定データ無し

蒸気密度（Air=1）：測定データ無し

比重（密度）：0.98 g/cm3　@20℃

水への溶解度：溶解性なし

オクタノール・水分配係数: 測定データ無し

自然発火温度：測定データ無し

揮発性有機化合物（VOC）, wt.%：無し

※注意：ここで記載された物理的データは一般的な値であり、仕様として解釈されるべきではない。

10.安定性及び反応性

安定性：常温で暗所に貯蔵・保管された場合、安定である。300℃以上加熱すると、成分分解症状を起こる恐れがあり。

避けるべき条件：高温及び点火源。分解点以上に加熱した場合、有毒な蒸気が発生する可能性あり。

危険有害反応可能性：強酸化剤、酸類、強塩基類と反応する。

非両立性の物質：強酸と酸化剤。

混触危険物質：含むかもしれない、限りではない：一酸化炭素、二酸化炭素、炭素酸化物。

危険有害反応可能性：危険反応なし。

11. 有害性情報

急性毒性：有用な情報無し

皮膚腐食性・刺激性：刺激性あり

眼に対する重篤な損傷･刺激性: 軽い炎症を引き起こす可能性有り。

呼吸器感作性又は皮膚感作性：目や鼻及び連続した吸入により呼吸器官に炎症を引き起こす場合がある。

長時間、又は連続した接触により炎症を引き起こす可能性有り。

生殖細胞変異原性：有用な情報無し。

発ガン性:	**ACGIH**	**IARC**	**NTP**	**OSHA**
蛍光染料	No	No	No	No
POEオイル	No	No	No	No

生殖毒性：有用な情報無し。

特定標的臓器・全身毒性－単回暴露：有用な情報無し。

－反複暴露：有用な情報無し。

吸引性呼吸器有害性：口、喉、及び胃の炎症の可能性有り。

既存病状の深刻化: 当該製品への接触が既存の病状を悪化、深刻化させる可能性は無い。

12.環境影響情報

生態毒性：

	POE オイル	蛍光剤
魚類 LD50 96hr mg/l	有用な情報なし	有用な情報なし
甲殻類 EC50 mg/l	有用な情報なし	有用な情報なし
藻類 EC50 72hr. mg/l	有用な情報なし	有用な情報なし

残留性・分解性：有用な情報無し。

生態蓄積性：有用な情報無し。

土壌中の移動度：有用な情報無し。

13.廃棄上の注意

廃棄：廃棄物処理法等に従って廃棄すること。消防法第四類第三石油類非水溶性として取り扱うこと。

特別な指示：指導が必要であるかどうか必ず適切な政府環境機関に連絡・確認すること。

14.輸送上の注意

国連分類及び国連番号：該当しない

運搬に際しては消防法危険物第四類第三石油類として扱い、容器に漏れがないことを確認し、落下・損傷しないように注意する。

15.適用法令

消防法： 第四類第三石油類 危険等級Ⅲ

労働安全衛生法：通知対象物

水質汚濁防止法： 油分排出規制(5mg/L 許容濃度)

海洋汚染物質：有害汚染物質に該当しない

下水道法： 鉱油類排出規制

廃棄物の処理及び清掃に関する法律： 産業廃棄物規則

発がん物質分類：

OSHA（O） 労働安全衛生庁

ACGIH（G） 米国産業衛生専門家会議

A1− 確定の発がん物質がある

A2- 発がん性が疑われる物質がある

A3- 動物発がん物質がある

A4- 発がん物質を分類できない

A5- 発がん物質は疑われない

16.その他の情報

引用文献等:

(1) 製品安全データシート作成指針（日本化学工業協会）

(2) 「化学物質の自主的な管理の改善を目指して」（中小企業基盤整備機構）

(3) 「化学物質審査規制法対応講習会テキスト」（中小企業基盤整備機構）

(4) 化学物質総合情報提供システム（製品評価技術基盤機構）

(5) 日本工業標準調査会 JIS Z 7250

(6) 許容濃度等の勧告、日本産業衛生学会（2006）

記載内容：ここに記載されている情報は知りうる限りの情報に基づいて作成しておりますが万全ではありません。またいずれの情報もこれを保証するものではありません。色々危険について述べておりますが、危険の存在可能性のみを記載しているものであり補償の対象ではなく、安全の保証をするものではありません。注意事項は通常の取扱いを前提にしたものですので、化学品の適合性の最終決定責任者は使用者自らであることを理解し、用途に適した安全対策を講じた上で御利用願います。